

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2000-317688 (P2000-317688A)
 【公開日】平成 12 年 11 月 21 日 (2000.11.21)
 【出願番号】特願 平 11-135732
 【国際特許分類】

B 3 0 B 1/14 (2006.01)

B 3 0 B 15/06 (2006.01)

【F I】

B 3 0 B 1/14

B 3 0 B 15/06 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 6 日 (2006.3.6)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 0
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

レバー 2 6 , 2 8 の連結軸線を形成する枢軸 3 6 及びリンク 3 0 , 3 2 の連結軸線を形成する枢軸 3 8 はクランク軸 1 4 の回転軸線と平行に伸びており、したがってレバー 2 6 , 2 8 及びリンク 3 0 , 3 2 はそれらの連結軸線に垂直な面内で屈伸可能である。上部及び下部レバー 2 6 及び 2 8 は、それぞれ、下端部及び上端部において枢軸により互いに連結されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 1
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

上部レバー 2 6 は、固定側支点として作用する軸線を有する枢軸 4 0 により上端部において位置調整機構 3 4 に連結されている。下部レバー 2 8 は、可動側支点として作用する軸線を有する枢軸 4 2 により下端部においてロッド 2 2 の上端部に連結されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 5
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

これに対し、枢軸 4 0 の位置を変更すると、上死点位置及び下死点位置における両レバー 2 6 , 2 8 の角度が変化するから、枢軸 3 6 の周りにおける枢軸 4 0 の位置により、クランク軸 1 4 の回転軸線からスライド 1 8 の下端面までの距離 L 21 , L 22 , L 23 が変化し、したがって上死点におけるスライド 1 8 の位置及びストローク長さは異なる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 2
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

